

授業科目	英語教科教育法Ⅲ					実務家教員担当科目	-								
単位	2	履修	選択	開講年次		3	開講時期		後期						
担当教員	西原 真弓														
授業概要	英語教科教育法Ⅰ・Ⅱで学んだ知識・理論をもとに、小学校、中学校・高等学校の教科書分析を中心に多角的に考察しながら英語教育で扱う内容を理解することができるようになります。学習指導要領に基づいた授業目標の立て方や教育目標に応じた授業展開の方法や、4技能を効果的に活用した指導をするために必要な知識を深めると共に、自身の英語の知識や英語運用能力を向上することを目的としています。														
授業形態	対面授業				授業方法	反転授業、ディスカッション、発表（文法説明）									
<b>学生が達成すべき行動目標</b>															
標準的レベル	1. 学習指導要領で小学校、中学校、高等学校の英語教育に何が求められているか理解できる。 2. 小学校、中学校、高等学校の英語の教科書の内容が理解できる。 3. 教材の内容をどのように授業に組み込んでいけばよいのか理解できる。 4. 4技能を授業展開するための技術を身につけている。														
理想的レベル	1. 学習指導要領で小学校、中学校、高等学校の英語教育に何が求められているか理解し応用できる。 2. 小学校、中学校、高等学校の英語の教科書の内容が理解でき、さらに自分で理解を深めることができる。 3. 教材の内容をどのように授業に組み込んでいけばよいのか理解し応用できる。 4. 4技能を授業展開するための技術を身につけており効果的に使うことができる。														
<b>評価方法・評価割合</b>															
<b>評価方法</b>			<b>評価割合（数値）</b>				<b>備考</b>								
試験			0												
小テスト			40%				語彙、文法、音読、内容理解に関する小テスト								
レポート			0												
発表（口頭、プレゼンテーション）			40%				文法説明など								
レポート外の提出物			0												
その他			20%				教材精査の取り組み具合をノート等で評価								
<b>カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング</b>															
DP1	-	DP2	-	DP3	-	DP4	○	DP5	○	ナンバリング EN34111J					
<b>学習課題（予習・復習）</b>									1回の目安時間（時間）						
小学校、中学校、高等学校の英語の教科書の精査 クラスルーム・イングリッシュを含めた英語スピーチング練習 教科書音読練習 文法自主学習									4						

第1回	1 英語教科教育法Ⅲの授業ガイダンス 授業概要を説明し、達成目標、評価内容や方法について説明する。 授業を組み立てるために必要な教材精査の重要性を理解する。
第2回	2 小学校外国語活動についての理解 小学校外国語活動の教科書精査を通して小学校中学年の教育内容について理解する。
第3回	3 小学校外国語科についての理解 小学校外国語科の教科書精査を通して小学校高学年の教育内容について理解する。
第4回	4 小中連携（教育内容のつながり） 中学校1年生の教科書の構成分析を通して、小中連携について理解を深める。
第5回	5 中学校における文法指導 中学校1年生の教科書を用いて、語彙、文法事項の取り扱い方を理解し指導の仕方を考察する。
第6回	6 中学校における内容理解の指導 中学校1年生の教科書を用いて、教材のテーマや教材の内容について深く分析し、生徒の思考力育成、国際理解の支援方法などを理解する。
第7回	7 中学校におけるリーディング指導 中学校2年生の教科書精査を通じ、様々なリーディング指導の方法を理解する。
第8回	8 中学校におけるリスニング指導 中学校2年生の教科書精査を通じ、リスニング指導の方法を理解する。
第9回	9 中学校におけるライティング指導 中学校3年生の教科書精査を通じ、自己表現力を身につけさせるライティング指導の方法を理解する。
第10回	10 中学校におけるスピーキング指導 中学校3年生の教科書精査を通じ、自己表現力を身につけさせるためのスピーキング指導の方法について理解を深める。
第11回	11 中学校における言語活動 中学校3年生の教科書精査を通じ、スピーキング（やり取り）力を身につけさせるための言語活動の指導の仕方について理解を深める。
第12回	12 高等学校の「英語コミュニケーション」 高等学校の「英語コミュニケーション」の教科書精査を通じ、高等学校で身につけさせたい力について理解を深める。
第13回	13 高等学校「英語コミュニケーション」 高等学校「英語コミュニケーション」の教科書精査を通して、思考力を高めるための教材の扱い方について理解を深める。
第14回	14 高等学校「論理表現」 高等学校の「論理表現」の教科書精査を通して、自己表現をさせる活動について考察する。
第15回	15 高等学校「論理表現」と全般に関する総括 高等学校で身につけさせたい自己表現能力の指導法について理解を深めると共に、学習全体の振り返りを行う。
テキスト	NEW HORIZON English Course 3 (東京書籍) 文部科学省『中学校学習指導要領解説 外国語編』(2017)

	<p>文部科学省『高等学校学習指導要領解説 外国語編』(2018)        *英語教科教育法Ⅱで購入したものを使うので新たに購入する必要はない。</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金森憲他『英語授業ハンドブック・中学校編』大修館書店 (2013)</li> <li>・金森憲他『英語授業ハンドブック・高校編』大修館書店 (2013)</li> <li>・望月昭彦・磐崎弘貞・卯城祐司・久保田章（著）『新学習指導要領にもとづく英語科教育法 第3版』 大修館書店 (2018)</li> </ul> <p>その他、適宜授業中に紹介する。</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>授業内で行う文法説明の発表には口頭でコメントをする。        小テストは終了後即採点し返却するので、各自振り返りを行う。        教材精査のノートは適宜チェックしコメントをして返却する。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎回、次時の授業で扱う教科書の内容を全員予習してくること。</li> <li>2. 自身の英語力強化を目指し、継続的に英単語力・英文法力・構文力を身につけるように努めること。</li> <li>3. 英語教育に関する新聞記事や時事問題には日頃から敏感になり、情報収集に努めること。</li> <li>4. 英語教師としての資質を磨き高めるため、日頃から自己研鑽に努め、ボランティア活動や英語指導には積極的に参加すること。</li> </ol>

